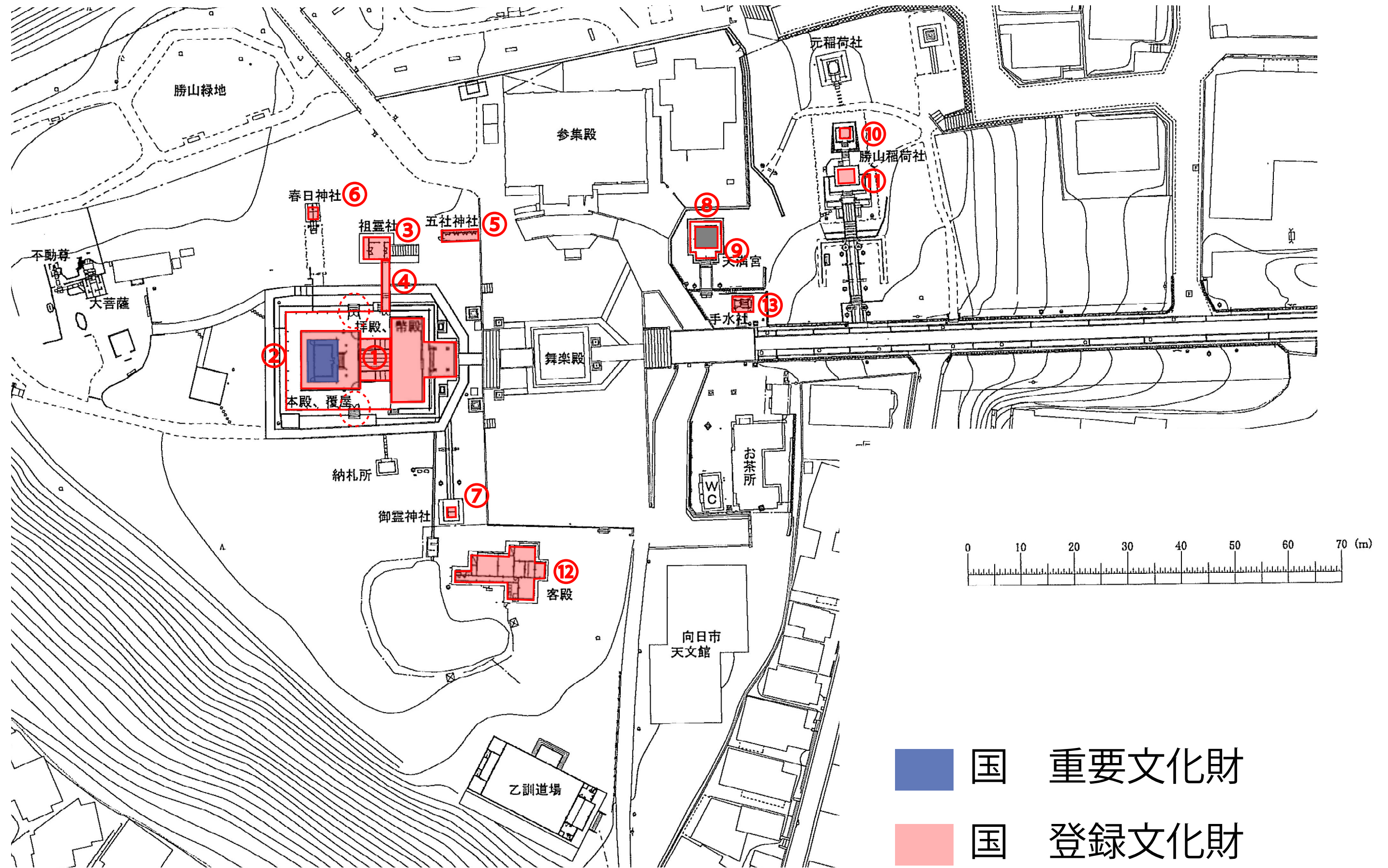


報告資料 1

名 称	むこうじんじゃけいだいしや ゆうけいぶんかざい ぶんかざいとうろくげんぽ とうろく 向日神社境内社 有形文化財の文化財登録原簿への登録について (国登録文化財について)																																																																									
場 所	向日市向日町北山65番、南山82番 1																																																																									
説 明 等	(1) 国登録有形文化財 文化財登録制度は、平成 8 年の文化財保護法の改正によって創設された新たな制度です。この制度により、身近で多種多様な歴史的建造物を文化財として保護することが可能となり、また所有者や地域の人々の積極的な取組によって、地域の人々が使い、楽しむ文化的拠点として活用することも可能となりました。 この度、向日神社の境内社 1 3 棟が国の登録有形文化財に登録されましたので、その概要について報告します。なお、市内の国登録文化財は、平成20年に登録された中小路家住宅（7 棟）に次いで 2 件目で、計20棟となりました。 (2) 登録概要等 ① 名 称 向日神社幣拝殿及び本殿覆屋 ほか 1 2 棟 ② 告 示 日 等 平成 2 7 年 8 月 4 日 文部科学省告示第 1 2 5 号 ③ 所 在 地 向日市向日町北山65番、南山82番 1 ④ 所 有 者 宗教法人 向日神社 ⑤ 登 録 物 件 下記のとおり ⑥ 登 録 理 由 国土の歴史的景観に寄与しているため ⑦ 登 録 概 要 向日神社は、式内社の古社で本殿は重要文化財に指定されている。この本殿は、天保年間に南向きから東向きに改められており、その際に多くの境内社が整えられた。これらの建造物群を有形文化財として登録し、社叢景観の保全を図る。 (3) 登録物件一覧表 <table><tr><th></th><th>名称</th><th>員数</th><th>構造形式</th><th>年代</th></tr><tr><td>①</td><td>向日神社幣拝殿及び本殿覆屋</td><td>1</td><td>木造平家建、瓦葺一部銅板葺、建築面積277㎡</td><td>天保13（1841）年</td></tr><tr><td>②</td><td>向日神社南門・北門及び瑞垣</td><td>1</td><td>（南門及び北門）木造、瓦葺、間口2.0m （瑞垣）木造、瓦葺、総延長52m</td><td>天保13（1841）年</td></tr><tr><td>③</td><td>向日神社末社祖霊社本殿</td><td>1</td><td>木造平家建、瓦葺、建築面積20㎡</td><td>元禄元（1688）年</td></tr><tr><td>④</td><td>向日神社末社祖霊社渡廊</td><td>1</td><td>木造平家建、瓦葺、建築面積15㎡</td><td>19世紀、江戸時代末</td></tr><tr><td>⑤</td><td>向日神社末社五社神社本殿</td><td>1</td><td>木造平家建、瓦葺、建築面積13㎡</td><td>19世紀、江戸時代末</td></tr><tr><td>⑥</td><td>向日神社末社春日神社本殿</td><td>1</td><td>木造平家建、こけら葺、建築面積0.55㎡</td><td>江戸時代後期／明治11年移築</td></tr><tr><td>⑦</td><td>向日神社末社御霊神社本殿</td><td>1</td><td>木造平家建、こけら葺、建築面積2.3㎡、覆屋付</td><td>江戸時代中期／明治10年移築</td></tr><tr><td>⑧</td><td>向日神社末社天満宮社本殿</td><td>1</td><td>木造平家建、瓦葺、建築面積20㎡</td><td>天保 4（1833）年</td></tr><tr><td>⑨</td><td>向日神社末社天満宮社瑞垣</td><td>1</td><td>木造、瓦葺、総延長17m</td><td>江戸時代末</td></tr><tr><td>⑩</td><td>向日神社末社勝山稲荷神社本殿</td><td>1</td><td>木造平家建、銅板葺、建築面積3.3㎡</td><td>大正期／昭和42年頃移築</td></tr><tr><td>⑪</td><td>向日神社末社勝山稲荷神社拝殿</td><td>1</td><td>木造平家建、銅板葺、建築面積17㎡</td><td>昭和前期／昭和42年頃移築</td></tr><tr><td>⑫</td><td>向日神社客殿</td><td>1</td><td>木造平家建、瓦葺、建築面積95㎡</td><td>昭和前期</td></tr><tr><td>⑬</td><td>向日神社手水舎</td><td>1</td><td>木造、瓦葺、面積4.0㎡、手水鉢、井戸付</td><td>江戸時代後期</td></tr></table> (4) 政策を推進していく上での効果について 登録有形文化財が重要文化財は、重要文化財や史跡など他の文化財とともに、我が国社会の中で尊重され、国民生活の文化的意識向上に資するとともに、地域の核としてまちづくりや文化観光等に役立つことが期待されます。 (5) 今後の施策展開の方向性 ① 西国街道沿いをはじめ、本市には古い建物が数多く残っています。しかし、これらの建物の維持管理には、多額の経費を要するとともに、生活様式の変化などにより急激に減少しています。そのような中で、このたび本殿以外の神社の境内社が新たに国の文化財に登録されたことは重要なことであります。今後も、文化財保護行政の一環として、市域の古き町並みが残せるような努力をしてまいります。 ② 向日神社の創建は、養老 2 年（718）と伝えられる。3 年後の平成30年（2018）には創建1300年を迎えます。登録を機に同社一帯を文化財の保護はもとより、歴史的風致維持向上計画に基づき地域振興、観光振興の拠点のひとつとし、まちづくりにも繋がる各種施策を取り組んで参りたく存じています。					名称	員数	構造形式	年代	①	向日神社幣拝殿及び本殿覆屋	1	木造平家建、瓦葺一部銅板葺、建築面積277㎡	天保13（1841）年	②	向日神社南門・北門及び瑞垣	1	（南門及び北門）木造、瓦葺、間口2.0m （瑞垣）木造、瓦葺、総延長52m	天保13（1841）年	③	向日神社末社祖霊社本殿	1	木造平家建、瓦葺、建築面積20㎡	元禄元（1688）年	④	向日神社末社祖霊社渡廊	1	木造平家建、瓦葺、建築面積15㎡	19世紀、江戸時代末	⑤	向日神社末社五社神社本殿	1	木造平家建、瓦葺、建築面積13㎡	19世紀、江戸時代末	⑥	向日神社末社春日神社本殿	1	木造平家建、こけら葺、建築面積0.55㎡	江戸時代後期／明治11年移築	⑦	向日神社末社御霊神社本殿	1	木造平家建、こけら葺、建築面積2.3㎡、覆屋付	江戸時代中期／明治10年移築	⑧	向日神社末社天満宮社本殿	1	木造平家建、瓦葺、建築面積20㎡	天保 4（1833）年	⑨	向日神社末社天満宮社瑞垣	1	木造、瓦葺、総延長17m	江戸時代末	⑩	向日神社末社勝山稲荷神社本殿	1	木造平家建、銅板葺、建築面積3.3㎡	大正期／昭和42年頃移築	⑪	向日神社末社勝山稲荷神社拝殿	1	木造平家建、銅板葺、建築面積17㎡	昭和前期／昭和42年頃移築	⑫	向日神社客殿	1	木造平家建、瓦葺、建築面積95㎡	昭和前期	⑬	向日神社手水舎	1	木造、瓦葺、面積4.0㎡、手水鉢、井戸付	江戸時代後期
	名称	員数	構造形式	年代																																																																						
①	向日神社幣拝殿及び本殿覆屋	1	木造平家建、瓦葺一部銅板葺、建築面積277㎡	天保13（1841）年																																																																						
②	向日神社南門・北門及び瑞垣	1	（南門及び北門）木造、瓦葺、間口2.0m （瑞垣）木造、瓦葺、総延長52m	天保13（1841）年																																																																						
③	向日神社末社祖霊社本殿	1	木造平家建、瓦葺、建築面積20㎡	元禄元（1688）年																																																																						
④	向日神社末社祖霊社渡廊	1	木造平家建、瓦葺、建築面積15㎡	19世紀、江戸時代末																																																																						
⑤	向日神社末社五社神社本殿	1	木造平家建、瓦葺、建築面積13㎡	19世紀、江戸時代末																																																																						
⑥	向日神社末社春日神社本殿	1	木造平家建、こけら葺、建築面積0.55㎡	江戸時代後期／明治11年移築																																																																						
⑦	向日神社末社御霊神社本殿	1	木造平家建、こけら葺、建築面積2.3㎡、覆屋付	江戸時代中期／明治10年移築																																																																						
⑧	向日神社末社天満宮社本殿	1	木造平家建、瓦葺、建築面積20㎡	天保 4（1833）年																																																																						
⑨	向日神社末社天満宮社瑞垣	1	木造、瓦葺、総延長17m	江戸時代末																																																																						
⑩	向日神社末社勝山稲荷神社本殿	1	木造平家建、銅板葺、建築面積3.3㎡	大正期／昭和42年頃移築																																																																						
⑪	向日神社末社勝山稲荷神社拝殿	1	木造平家建、銅板葺、建築面積17㎡	昭和前期／昭和42年頃移築																																																																						
⑫	向日神社客殿	1	木造平家建、瓦葺、建築面積95㎡	昭和前期																																																																						
⑬	向日神社手水舎	1	木造、瓦葺、面積4.0㎡、手水鉢、井戸付	江戸時代後期																																																																						

向日神社の文化財



「まちづくりプラス」や「つと」

地域住民ら喜びの声

向日市向日町の向日神社の社殿など計13カ所がこのほど、国の登録有形文化財に指定されたことが決まった。文化審議会が3月に提出した答申で、本殿を囲うように建てられた幣拝殿や末社など、同神社のほぼ全体が登録文化財になることになり、地域住民からは喜びの声が上がっている。

向日神社・建物13カ所

明治神宮(東京都)がモデルにしたとされる同神社の本殿は、室町時代中期に作られたとされ、すでに国の重要文化財に指定されている。同神社の森の手入れなどを行う「鎮守の森の会」の上田昌弘会長(71)は「本殿は普段は見ることができないので、一般の参拝者にも見える部分が国に認められてよかった」と喜んでいる。市では、2月に地域の歴史をまちづくりに生かす「歴史まちづくり法」に基づき都市計画が国の認定を受けており、向日神社は重点区域に含まれる。市産業振興課は「いいタイミングでの指定。これを機に文化財への理解を高め、向日神社に1人でも多くの人に来てほしい」としており、まちの観光振興を進める上でさらにプラスになるとの認識を示す。

登録有形文化財の新登録を受ける社殿(向日市向日町・向日神社)

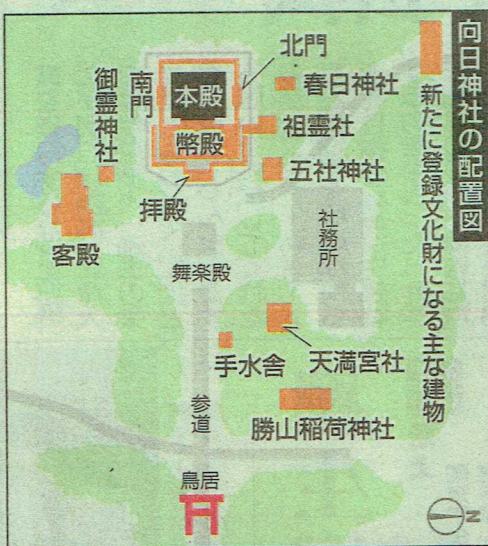


祈祷などを行う幣拝殿。奥にあるのは重要文化財の本殿



新たに登録される末社祖霊社渡廊

現在住民の憩いの場



としても親しまれており、「桜まつり」など地域イベントの会場にもなっている。毎朝午前5時ごろに参拝するという井上直一さん(70)は「同市上植野町は『ここは明治神宮の元にもなった、由緒ある神社。登録は『やつか』という感じ』と話した。3年後には神社創建1

文化財登録は建設後50年を超えた歴史的建造物のうち、「国土の歴史的景観に寄与しているもの」「再現することが容易でないもの」など、一定の基準を満たすことが必要となる。市内では、中小路家住宅(同市上植野町)がすでに登録有形文化財に指定されている。

向日では中小路家住宅

向日神社では▽幣拝殿および本殿覆屋▽南門・北門および瑞垣▽客殿▽手水舎▽末社祖霊社本殿▽同社渡廊▽末社五社神社本殿▽末社春日神社本殿▽末社御霊神社本殿▽末社天満宮社本殿▽同社瑞垣▽末社勝山稲荷神社本殿▽同神社拝殿の計13カ所が新たに登録される。

(藤井契人)

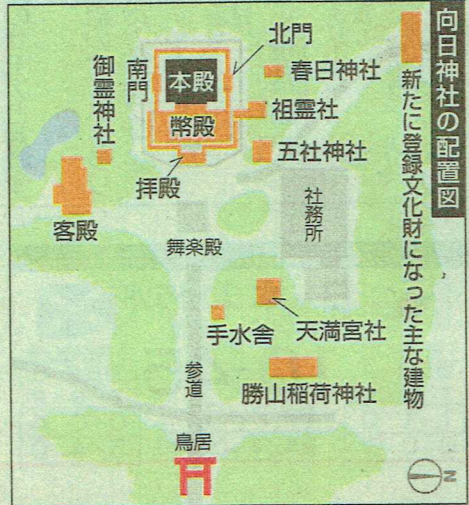
向日神社に登録プレート

国登録有形文化財

向日神社(向日市向日町)が国登録有形文化財に登録されたのを記念し、向日市は24日、文化庁から届いた登録プレートを同神社に贈った。2018年に創建1300年を迎えるだけに、関係者は「歴史まちづくりの起点にしたい」と意気込みを語った。



国登録有形文化財に殿の計13件が選ばれた。この日、安田守市長は瑞垣▽客殿▽手水舎▽末社祖霊社本殿▽同社渡廊▽末社五社神社本殿▽末社春日神社本殿▽末社御霊神社本殿▽末社天満宮社本殿▽同社瑞垣▽末社勝山稲荷神社本殿▽同神社拝堂を代表して記念撮影した。



▲国登録有形文化財の登録プレートを
持つ六人部宮司(右)と安田市長
向日市向日町・向日神社

創建1300年控え 「後世に引き継ぐ」

とされる本殿は明治神宮(東京都)がモデルにしたとされ、すでに国の重要文化財に指定されている。六人部宮司は「防犯、防災対策にしっかりと取り組み、安心できる社づくりを行いたい。国登録有形文化財に登録されたことを広く周知し、建物を後世に残していきたい」と話した。

登録プレートは参拝者が見やすいよう拝殿前に設置する予定という。(小野俊介)

